



東横野小学校



図書だより

2024.6月 No.3

【今年転任されてきた先生方からの図書紹介】

4月、東横野小学校に、養護の〇〇〇〇先生と栄養士の〇〇〇〇先生がいらっしゃいました。みなさんも保健室で、給食室で、毎日のように顔を合わせていますね。

おふたりの先生に「どんな本が好きですか？」と聞いてみました。それぞれこんな本がお好きだそうですよ。

■〇〇〇〇先生■

『りんごかもしれない』作・絵 ヨシタケシンスケ

テーブルの上にりんごがおいてあった。…でも、もしかしたら、これはりんごじゃないかもしれない。〇〇かもしれない!! 想像力というか、妄想力というか…とても面白い一冊!! 現実世界でも「これは本当に〇〇?」と考えてしまう!!

みんなにもぜひ考えてみてほしいです。

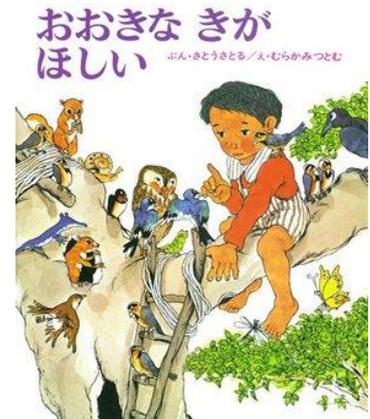


■〇〇〇〇〇先生■

『おおきなきがほしい』作・佐藤さとる／絵・村上勉

私が子供のころに読んだ本の中で一番大好きな本です。私も木の家でホットケーキを焼いたり料理してみたいと本気で思っていました。主人公かおるの想像力がすごいです。大人になった今でも憧れの絵本です。

どちらの絵本も図書室に入っています。(でも、もし見つからなかったら〇〇先生に聞いてください。)ぜひみなさんも読んでみてください。



【すてきなPOPができました】

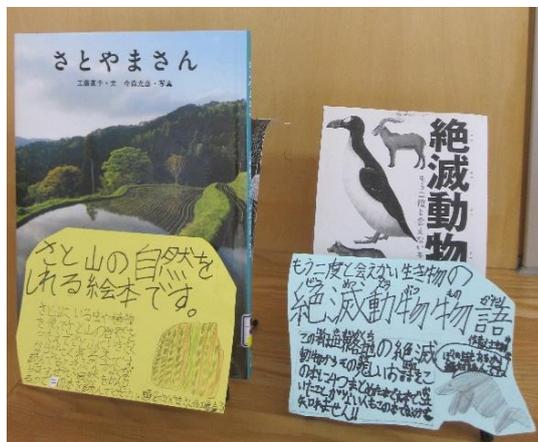
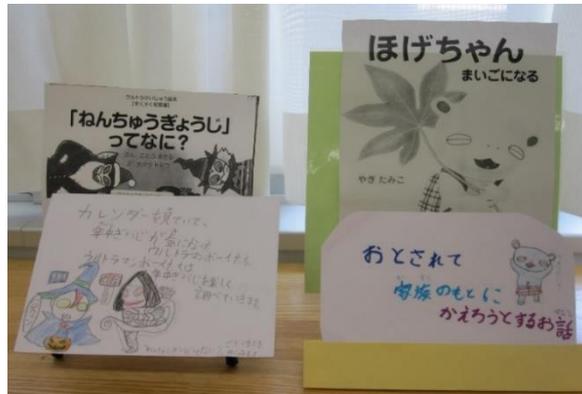
6月の図書委員会では、本のPOPを作りました。

POPというのは広告のなかまです。たとえば、お店で「これは安い!」「なんと〇〇円!」などと書かれた紙やパネルを見かけますね。目立つ色や文字で書かれたこれらをPOP(購入意欲促進広告)といいます。本屋さんでも、読んでほしい本やおすすめの本に、こうしたPOPをつけるようになってきました。

実は、この企画、〇〇先生も初めての試みだったので「本当にできるのかな」と心配でしたが…図書委員さんたちはとても優秀でした。

紙のまわりを切ったり、文字の色を変えたり、それぞれの工夫がすばらしかったです。それにみんな本当に絵がうまい!





また、推せん文（どんなところを読んでほしいのか伝える文）や見出しもとてもよかったです。たとえば、「本で泣いたことがない人も、この本で泣くかもしれません」←『絶滅動物物語』の推せん文の一部です。このほかの作品も、とてもすばらしいと思います。カラーでないと伝わりきれない良さがたくさんあります。ぜひ図書館に来て実物を見てください。

【夏休みの課題図書・1】

今年（ことし）は夏休みの読書感想文課題図書（どくしょかんそうぶん かだいとしょ）を早め（はや）に入れて始めました。現在（げんざい）、8冊（きつとど）届（とど）いています。



高 学 年 の 部



中 学 年 の 部



低 学 年 の 部